

**具体的な施策・重要業績評価
指標（K P I）進捗状況評価票
【対象：平成 29 年度】**

具体的な施策・重要業績評価指標 (K P I) 進捗状況評価票
(対象:平成 29 年度)

基本目標	1	市内産業の振興と起業・創業の推進による雇用の確保
基本的方向	1	市内産業の経営安定化による雇用機会の維持(経営基盤の強化)
具体的な施策		市内企業の経営支援
主担当課	経済観光課	
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> ・むさし府中商工会議所と連携し、経営指導や金融支援などといった経営支援を行い、雇用の確保と地域経済の活性化を目指します。 ・商店街のより一層の活性化に向けた取組を支援します。 ・産・学・金・官の連携等を図り、新たな商品開発や人材交流につなげ、市内産業の振興を支援します。 	

1 重要業績評価指標 (K P I)

指標名	単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
		目標					
		実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
融資実行件数	件	300					
		292	283	252	243		
		/	B	C	C		
商店街イベント事業補助金交付商店会数	件	32					
		28	30	30	29		
		/	A	A	A		
技術相談を行った件数	件	470					
		463	456	407	462		
		/	B	C	B		

- 進捗 A : 目標達成に向け、順調に進捗している。
 B : やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
 C : 遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2 進捗状況評価（担当課）

【平成29年度の取組内容と評価】	
担当課 評価	<p>事業資金融資利子補助の制度を見直し（限度額や返済期間の拡大等）市内中小企業における金融の円滑化を図った。過去3年間の申込件数は、平成27年度が340件、平成28年度が304件、平成29年度が285件と減少しており、低金利政策や実行されるまで時間がかかることなどが要因として考えられる。しかし、同時に、金融機関の直接融資を利用する企業が増え、徐々にではあるが、経済が円滑に回り始めていると聞いている。</p> <p>イベント事業に対する補助を継続して行うことで、29商店会、延べ47事業分の商店街の活性化等に寄与する事業への支援を継続することができた。</p>
B	<p>府中市工業技術情報センターへ相談した会社1社当たりの相談件数は平均4件、また、技術相談の結果として製品開発につながった、あるいは開発途中の件数は6件ある。都の施設の充実等により、専門的な技術相談対応から、補助金等申請支援相談や技術情報提供等へ重点を移し支援することができた。また、人材交流としては、産学官連携として6社の交流あつ旋を行い、市内産業の振興を図った。</p>
【平成30年度における取組など】	
<p>事業資金融資利子補助や中小企業退職金共済掛金の補助を継続するとともに、景況や市内中小企業者のニーズを把握し、円滑な経済活動が行われるよう支援していく。</p> <p>イベント事業に対する補助を継続して行うことで、商店街の活性化等に寄与する事業を行う商店会への支援を継続していく。</p> <p>補助金等申請支援相談や技術情報提供に重点を置き、支援を継続していく。また、平成30年度よりむさし府中商工会議所内へ移転し、市内商工業者の相談拠点の一元化により、新たな支援を開拓していく。</p>	

評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。

B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。

C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評価	<p>について実行件数が厳しい数値であり、目標に対して57件、前年比9件と減少が止まらない。担当コメントによると申込数も同様に減少が続いているが、毎年40~50件近く融資実行に至っていないケースがある。書式の不備等による単純ミスといったものか、申込者と制度のミスマッチがあるのかを検証があると良いのではないかと。一因として実行までの時間がかかる面が挙げられているが、実態に応じた制度設計の見直しや制度自体の周知についての状況を整理することも一考されたい。</p>
B	<p>について毎年目標数32件には達しておらず平成29年度は前年比1件となっているものの目標件数、実行件数共に誤差の範囲内であり着実に進んでいると評価できる。</p> <p>について平成29年度は前年比55件の急激な増加であり以前の水準に戻した状況が見て取れる。担当課コメントによると相談が成果に結び付いており、相談拠点の一元化と併せて目標達成に向け順調に推移していると考えられる。</p>

評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。

B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。

C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標 (K P I) 進捗状況評価票
(対象:平成 29 年度)

基本目標	1	市内産業の振興と起業・創業の推進による雇用の確保
基本的方向	1	市内産業の経営安定化による雇用機会の維持(経営基盤の強化)
具体的な施策		多様な人材の就労支援
主担当課	住宅勤労課、地域コミュニティ課	
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就労意欲のある方が積極的に地域で活躍できるよう、若い世代の就業機会の拡大、働く意欲のある高齢者の就業機会の提供などを支援します。 ・ 講座を開催するなど、出産や介護などの理由により離職した女性の再就職を支援するとともに、市内企業におけるワーク・ライフ・バランスの推進に向けた取組についての啓発を進めます。 	

1 重要業績評価指標 (K P I)

指標名	単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
		目標					
		実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
いきいきワーク府中の就職率	%	36.8					
		32.1	27.2	26.4	24.8		
		/	C	C	C		
女性向け再就職支援の講座数	講座	現状値以上					
		5	5	5	4		
		/	A	A	A		

- 進捗 A : 目標達成に向け、順調に進捗している。
 B : やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
 C : 遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2 進捗状況評価（担当課）

【平成29年度の取組内容と評価】	
担当課 評価	<p>高年齢者の職業紹介事業は自所求人開拓を積極的に取り組み、就職者数 215 人、来所者数 1,787 人、自所開拓求人数 2,035 人と都内でもトップレベルの実績をあげている。定年の引上げ等により高年齢者の就労機会がさらに厳しさを増すとともに、求職登録者が増え続ける中で就職率の低下が生じたが、親切丁寧な対応を行い、再就職につなげている。</p> <p>新たな取組みとして市とセブン・イレブンの地域活性化包括協定に基づき「シニア向けお仕事説明会」を開催し、13人が就職する成果を得た。</p>
B	<p>また、ハローワーク府中、東京しごとセンター、東京都労働相談情報センターと共催等で、就職支援セミナー、合同就職面接会を行った。</p> <p>再就職支援講座を4講座（延20回）実施し、出産や介護等の理由により離職した女性の再就職を支援した。受講者113人のうち、就職につながった人数は24人。</p>
【平成30年度における取組など】	
<p>ハローワークの求人情報に加えて、勤労者福祉振興公社が独自に集めた求人情報を提供して実施する概ね55歳からの無料職業紹介事業「いきいきワーク府中」に対して引き続き支援していく。求人数及び就職者のニーズに対応するため、ハローワーク府中、東京しごとセンター、東京都労働相談情報センター等と連携を図り、再就職支援講座や就職面接会を行い、高年齢者の再就職を支援していく。引き続き、講座を開催するなど、出産や介護などの理由により離職した女性の再就職を支援していく。</p>	

- 評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。
 B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。
 C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評価	<p>の実績については、目標達成率 12ポイント 前年比 1.6ポイントという結果で目標に対する評価としては厳しいが就職件数は横ばいで推移しており、現状の雇用情勢から見ると概ね評価できる数値と史料する。取組自体は積極的に行っていると思われるので今後、ハローワーク等関係機関と連携を強化し、就職数向上により目標就職率の向上を図られたい。</p>
B	<p>女性向け再就職支援講座は目標現状値で28年度18回のところ20回実施と良好に推移している。講座数が5から4となっているが必要度により回数を重視したものと史料する。今後も求職者ニーズに合わせた効果的な運営をお願いする。</p>

- 評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
 B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
 C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標 (K P I) 進捗状況評価票
(対象:平成 29 年度)

基本目標	2	定住促進に向けたにぎわいの創出とふるさと意識の醸成
基本的方向	1	府中の魅力を活かしたにぎわいの創出
具体的な施策		地域の連携によるにぎわいの創出
主担当課	経済観光課、政策課	
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> ・府中駅周辺のエリアマネジメントを推進し、にぎわいを創出することで、中心市街地の活性化を図ります。 ・ラグビーワールドカップ日本大会及び東京オリンピック・パラリンピックの開催を機に、日本全国に、そして海外に府中市の魅力を発信するとともに、地域が一体となって国内及び海外からの訪問者の受入環境の充実・強化を進めます。 	

1 重要業績評価指標 (K P I)

指標名	単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
		目標					
		実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
休日のけやき並木通りの歩行者交通量	人	現状値以上					
		19,378	19,378	15,586	25,500		
		平成 2 7 年度の実績	-	C	A		

- 進捗 A : 目標達成に向け、順調に進捗している。
 B : やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
 C : 遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2 進捗状況評価（担当課）

【平成29年度の取組内容と評価】	
担当課 評価	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年7月には、府中駅南口市街地再開発事業の最終地区となる「ル・シーニュ」が開業を迎えた。これに際し、平成28年12月に設立したエリアマネジメント組織「一般社団法人まちづくり府中」が中心となり、府中駅南口に立地する大規模商業施設が連携した合同セール「キテキテ府中」及び市内大学と連携した「FUCHU WORLD FESTIVAL」が開催され、にぎわいが創出された。
A	<ul style="list-style-type: none"> 市から同法人への委託事業として、けやき並木通り南西部にある未利用市有地の活用に向けた実証実験として、チャレンジショップの運営を行ったほか、東京競馬場来場者を中心市街地に呼び込むためのタイアップ事業として、スマートフォンを活用したスタンプラリーを実施した。加えて、年末年始には、中心市街地への来訪者をおもてなすための竹あかりライトアップ事業を実施し、にぎわいの創出に寄与した。 <p>< K P I の調査条件について ></p> <p>測定日時：平成29年9月24日（日）7時から19時（合計12時間）</p> <p>場 所：けやき並木通り（ル・シーニュ前）</p> <p>天 候：晴れ</p>
【平成30年度における取組など】	
	<ul style="list-style-type: none"> お店の人が講師となって、専門知識やプロのコツを無料で教えるコミュニケーション事業「むさし府中まちゼミ」を一般社団法人まちづくり府中の主催で実施し、各店舗や店主の魅力を発信することで、にぎわいの創出につなげる。 東京競馬場タイアップ事業は、平成29年度に実施したデジタルのスタンプラリーの手法を基本としつつ、アナログ的手法の活用や協力店舗の業種を拡大することで、参加者のさらなる増加を目指し、にぎわいの創出につなげる。 平成29年度までむさし府中商工会議所が主催していた「府中マルシェ」を発展させた新たなにぎわい創出事業を検討し、年2回程度実施する。 竹あかりライトアップ事業は、今後のラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックで、さらに多くの方が府中を訪れることを見据え、実施時期や見せ方を工夫し、より印象的なライトアップを行う。

評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。

B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。

C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評価	府中駅南口で最後に残っていた府中駅南口市街地再開発事業の地区に「ルシーニュ」が開業し、「ルシーニュ」を含む府中駅周辺の大規模商業施設が連携した「キテキテ府中」等のイベントや未利用地活用によるチャレンジショップの運営、スマートフォン活用のスタンプラリー、「竹あかりライトアップ」などの各種事業がなされたことは、評価できる。
A	けやき並木の通行量調査日はイベントのない日に実施したもので、K P I 数値は大幅にアップしていることは評価できる。 今後ともまちの賑わいにつながる事業の推進とともに、官民協働による取組みを継続的に実施してもらいたい。

- 評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
 B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
 C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標 (K P I) 進捗状況評価票
(対象:平成 29 年度)

基本目標	2	定住促進に向けたにぎわいの創出とふるさと意識の醸成		
基本的方向	2	郷土への愛着を感じるふるさと意識の醸成		
具体的な施策		歴史や文化、スポーツに触れる機会の充実		
主担当課		文化生涯学習課、スポーツ振興課	関連課	ふるさと文化財課、美術館
施策概要		<ul style="list-style-type: none"> ・府中市の伝統芸能や芸術文化を継承していくとともに、文化施設や歴史・文化遺産を活用して、郷土愛を持てるまちを目指します。 ・スポーツタウン府中の発展に向け、各種競技団体、市内の大学や市内を活動拠点とするトップチームなどとの連携を深め、府中市ならではの事業を展開します。 		

1 重要業績評価指標 (K P I)

指標名	単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
		目標					
		実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
郷土の森博物館 及び美術館の 入場者数	人	533,000					
		489,602	498,579	569,685	530,738		
			A	A	A		
大学やトップチーム と連携する事業数	事業	3					
		2	2	3	4		
			A	A	A		

- 進捗 A : 目標達成に向け、順調に進捗している。
 B : やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
 C : 遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2 進捗状況評価（担当課）

【平成29年度の取組内容と評価】	
担当課 評価	<p>郷土の森博物館では、プラネタリウムのリニューアル工事（10月～翌年4月末）に伴い、投映を一時休止及び休館したことにより入場者数の目標値には達しなかったが、計画的な植栽管理による梅まつりの実施や魅力ある特別展の開催し一定の成果（H29年度入館者数283,766人）を得たため評価をAとした。美術館では、企画展・公開制作・鑑賞教室等を実施するとともに、市内で活動する個人・団体の展示による市民ギャラリーの利用（H29年度の総入場者数246,972人）など一定の成果を得た。総合体育館では、市特有の事業として、トップチームによるフットサル教室及びチアダンス教室等を実施した。参加者からこれを機会に競技を始めたいとの多数の声がり好評を得た。</p> <p>市指定の無形民俗文化財である府中囃子は、年間を通じ演奏技術の伝承を継続して支援するとともに、演奏を収録したCDの作成し市内外に広く周知を行った。武蔵国府太鼓は市民を対象とした講習会を継続して実施した。市史編さん事業では、東京外国語大学と連携し、近世古文書の調査並びに近代行政文書の件名目録作成による整理を実施した。また東京農工大学と連携し、自然調査（植生、土壌、大気等）の実施により大きな成果を得た。</p>
A	
【平成30年度における取組など】	
<p>郷土の森博物館では、特別展・企画展の実施や、常設展、梅まつり等を継続して実施することで、郷土愛の醸成につながる取組とするほか、リニューアルしたプラネタリウムを活かした事業を実施し、来場者数の増加を図る。美術館では、企画展、常設展・所蔵品展を開催し、市民の美術文化に対する意識を高めるとともに、天井等を改修し安全性を向上する。</p> <p>平成29年度においても目標事業数の「3」を達成できた。今後は事業を継続するとともに、参加者満足度の向上のため教室内容を工夫することにより、更なる充実を目指していく。</p> <p>府中囃子及び武蔵国府太鼓の伝承普及や後継者の育成を継続して取り組む。武蔵国府太鼓の演奏を収録したDVDを作成し市内外へ広く周知を図る。市史編さん事業の中で、引き続き市内の大学（東京外国語大学・東京農工大学）と連携して調査を進める。</p>	

- 評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。
 B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。
 C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評価	<p>昨年度よりも減少し、目標値に達しなかったものの、郷土の森博物館がリニューアル工事の中、様々な展示や行事を行ったことで一定の成果が見られたことは評価できる。また、ほかに減少した要因ないか解明に努めてほしい。今後は、リニューアルしたプラネタリウムをアピールしていくことや、展示や行事の継続を行うことで、入場者の増加が期待できる。</p>
A	<p>目標値を達成し、昨年度と比較しても事業が増加している点で評価できる。今後も、府中市ならではの歴史や文化の継承や、市民がスポーツに親しむことができるような取り組みの継続を行い、新たな取り組みにも期待したい。そして、継続していく上での課題がないか検討してほしい。また、参加者満足度向上のため教室内容を工夫するとあるが、その際には、参加者のニーズの把握に努めてほしい。</p>

- 評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
 B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
 C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標 (K P I) 進捗状況評価票
(対象:平成 29 年度)

基本目標	3	若い世代の出産・子育てへの希望の実現
基本的方向	1	若い世代が安心して出産や子育てができるまちづくり
具体的な施策		安心して妊娠・出産できるサポート体制の充実
主担当課	子育て支援課、健康推進課	
施策概要	・妊娠期からの子育て不安の解消に向けて、適切な情報提供を行うとともに、各種健診や教室などを実施します。また、出産前後の家庭の育児や家事を支援し、出産に係る母親の負担感の軽減を図ります。	

1 重要業績評価指標 (K P I)

指標名	単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
		目標					
		実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
Fu-CHU こそだて サイト「ふわっと」 アクセス数	人	現状値以上					
		24,807	26,924	23,887	50,146		
			A	B	A		
産前産後家庭 サポート事業の 新規登録世帯	世帯	現状値以上					
		213	224	220	213		
			A	A	A		

- 進捗 A : 目標達成に向け、順調に進捗している。
 B : やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
 C : 遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2 進捗状況評価（担当課）

【平成29年度の取組内容と評価】	
担当課 評価	<p>子育てサイトをリニューアルするとともに、アプリを配信開始し、幅広く出産や子育ての支援に関する情報提供を行い、育児に係る不安解消等を図った。</p> <p>産前産後家庭サポート事業の実施により、育児不安を抱える保護者にきめ細やかな支援を提供し、育児に係る不安解消等を図った。</p> <p>妊娠届出を行った全妊婦を対象として妊婦健康診査、超音波検査、HIV抗体検査、子宮頸がん健診の費用助成（対象者2,096人、延べ25,874件）をした。また、母親学級を年10回、両親学級を年10回実施し、延べ662人の参加があった。離乳食教室、年59回（参加者延べ1,415人）、親子の歯みがき教室年11回（参加者延べ244人）を実施した。必要時、健診・教室から助産師および保健師の相談や訪問につなげ、妊娠期から出産や育児についての不安の解消や子育て支援を行った。母子の保持増進及び安心して子供を産み育てるための環境づくりに役割を果たした。</p>
A	
【平成30年度における取組など】	
	<p>市民がより情報を得やすくなるよう、子育てサイト及びアプリの適切な運用を行うとともに、情報の得にくい外国人向けに子育てサイトに多言語翻訳機能を搭載する。また、リーフレットの改訂・配布を行うほか、メール配信サービス等によりさらなる周知を図る。</p> <p>引き続き、産前産後家庭サポート事業の実施により、育児不安を抱える保護者にきめ細やかな支援を提供し、育児不安の解消を図る。また、より多くの市民に利用してもらえるよう、リーフレットを改訂し、母子健康手帳交付時に配布するほか、子育てサイトやメール配信サービス等により周知を図る。平成30年4月から子ども家庭支援センター「たち」と連携型で子育て世代包括支援センターを立上げ、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を充実させていく。</p>

- 評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。
 B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。
 C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評価	①子育てサイトをリニューアルし、アクセス数が倍増したことは評価できる。さらに外国人向けや情報をネットワークできたり、育児に係る不安などを気軽にできるような工夫もあるとよい。
B	②については、きめ細やかな支援が提供されていると思うが、世帯数が減っている。最近、貧困家庭も増えているようだ。孤立した家庭まで行き届き、世帯数を増やすには、地域や市民と連携し、さらに見守りとしての事業として増えていく事も必要と思う。市民や子育て世代包括支援センターなどと連携し、さらなる充実を期待する。

- 評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
 B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
 C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標 (K P I) 進捗状況評価票
(対象:平成 29 年度)

基本目標	4	地域とつながる安心な暮らしの確保
基本的方向	1	みんなが安心して暮らせる地域づくり
具体的な施策		防災・防犯体制の強化
主担当課	防災危機管理課、地域安全対策課	
施策概要	・全ての市民が安心して暮らし続けられるよう、地域の防災・防犯体制を強化するとともに、災害に強い都市基盤づくりを進めます。	

1 重要業績評価指標 (K P I)

指標名	単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
		目標					
		実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
日頃から家庭で災害に対する備えをしている市民の割合	%	80.0					
		62.2	57.4	62	55.8		
			B	B	B		
地域安全リーダー講習会受講者数	人	450					
		311	332	354	374		
			A	A	A		

- 進捗 A : 目標達成に向け、順調に進捗している。
 B : やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
 C : 遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2 進捗状況評価（担当課）

【平成29年度の取組内容と評価】	
担当課 評価	<p>防災の基本である自助について、広報番組「まるごと府中」や職員の出前講座等を通じて、家庭でできる取り組み（家具の転倒防止、災害用持ち出し袋の備蓄等）の必要性を説明してきた。また、市内の文化センター圏域ごとに自主防災連絡会において、昨年度、明らかにした防災上の課題から「安否確認活動」を取組テーマに設定し、自治会等ごとに防災対策を検討し行動計画の作成に取組んだ。また、新たに水害ハザードマップを作成し全戸配付を行い、水害のリスクと対応などについて周知した。</p> <p>様々な機会を利用し、市民自らが参加する自主防犯活動の大切さについて啓発活動を行った結果、地域安全リーダー講習会への女性参加者増加につながったが、若年層の参加には至らなかった。（全体20名、女性6名、40歳代以下の若年層0名） また、プロ劇団員による寸劇防犯講話を開催し特殊詐欺被害防止に努めた。（年1回、市民センタープラッツ「バルトホール」で実施）</p>
B	
【平成30年度における取組など】	
	<p>引き続き、上記の取り組みを推進する他に、自主防災連絡会の活動内容について、参加者だけでなく広く市民に周知するため、防災情報紙を新たに作成し全戸配付を行い、意識啓発を図る。</p> <p>ながら見守り連携協定を東京ヤクルト販売㈱と締結し、これまでに締結した東京都信用金庫協会、宅建取引業協会、不動産協会、府中新聞販売同業組合と合わせ、より多くの目で見守りを行う体制づくりができたことから、今後は府中警察署と連携し、子どもに対する犯罪や特殊詐欺の発生状況などの情報を見守り個所として発信することで、安全で快適に暮らせる持続可能なまちづくりに努めていく。</p>

評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。

B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。

C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評価	<p>自助については地域ごとの取組みや、情報提供を行っているなど評価できる。 現状、市民の備えに対する意識が55.8%と年々低下している。 このままでは80%達成が厳しいと考える。 次期に防災情報紙を全戸配付による意識啓発に期待すると同時に更なる周知を期待したい。</p>
B	<p>講習会参加者に女性が増えた事は評価できる。いざという時の力になる女性、若年層の参加を促すことに更に邁進していただきたい。 目標に対し参加者も微増しているが、講習会の回数を増やす、会場を増やす等、更なる受講者数を増やす工夫していただきたい。</p>

- 評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
 B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
 C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

【担当委員より】

補足

は、備えをしている率が低下しており、目標に遠くなっている。
 家族（学生のお子さん）がいる家庭では、教育の一環で話が出たりしていると思うが、単身者等、地元と交流の無い方たちに知ってもらうような周知をしてもらえるとまた違った結果になるのかと思います。
 駅に掲示するポスター作製等、目につくような手法も意識づけになるかと思います。

の講習会受講者数は、毎年20名前後で、450名に届かせるためには、新たな発掘をしないと達成できないと思います。商店街、商工会はもう参加していると思うので、地域住民の自治会や市立小学校等を通じて案内する事は出来ないか工夫してもらえるとありがたい。もうやっていたら失礼致しました。

具体的な施策・重要業績評価指標 (K P I) 進捗状況評価票
(対象:平成 29 年度)

基本目標	4	地域とつながる安心な暮らしの確保		
基本的方向	2	地域コミュニティの活性化		
具体的な施策		空き家などの活用		
主担当課	環境政策課	関連課	住宅勤労課、地域コミュニティ課	
施策概要	・空き家や空き店舗などは、地域活動に活用できる重要なストックであることから、これらを有効活用し、地域コミュニティ拠点の整備などを目指します。			

1 重要業績評価指標 (K P I)

指標名	単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
		目標					
		実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
空き家等を活用した コミュニティ活動 事例	人	実施					
		未実施	未実施	未実施	未実施		
			C	B	B		

- 進捗 A : 目標達成に向け、順調に進捗している。
 B : やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
 C : 遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2 進捗状況評価（担当課）

【平成29年度の取組内容と評価】	
担当課 評価	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度に設置した附属機関（府中市空家等対策協議会：会長・市長）において審議され、平成29年度に策定された空家等対策計画の中で、空き家利活用の方向性を定めた。（利用可能な空き家について、所有者等に専門相談窓口を案内するなど、市場流通の促進を図る。住宅や福祉、子育て等各部門における施策を進める手段としての利活用について情報の蓄積を進め、必要な場合は各部門で検討していく。）
B	<ul style="list-style-type: none"> 東京都及び調布市と共催で、空き家対策等の推進及び啓発を目的に、懸念される居住環境の悪化、防災面で課題となる空き家問題、利活用の推進など、空き家にまつわる基本的な問題・課題をテーマにしたセミナーを開催した。
【平成30年度における取組など】	
	<ul style="list-style-type: none"> 空き家対策の推進に関する特別措置法第3条に定めるとおり、空き家対策の原則は所有者等による自己管理にあるため、空き家利活用についても、府中市空家等対策計画に則り、その原則との整合を図りながら進めていく。 空き家の利活用に関する問合せに対し専門相談窓口を適切に案内するとともに、東京都及び調布市・狛江市と共催で、空き家の利活用の推進や適正管理の重要性を周知することを目的としたセミナーを開催する予定です。

評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。

B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。

C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評価	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度の空き家対策計画が作成され、空き家利活用の方向性を定め、空家対策等推進及び啓発などが進められていることに期待したい。 しかし、空家等を活用したコミュニティ活動の具体的な施策はないため、評価することができない。 空き家対策が整備され、住宅や福祉、子育てなど各部門における施策として、先月「世界ハピタット賞」を受けたNPO法人「リトルワンズ」（東京）の取り組みを紹介する。母子家庭123万世帯で家計を圧迫する家賃。子どもに安心安全の場への支援することが親子の人生を変える。安全で手ごろな住居を提供するため、家賃交渉、急増する空家対策に取り組む国や自治体と連携しつつ、6年間で300世帯を支援したという。
C	

評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。

B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。

C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。